

令和4年度 10月号 校長 饗場 宏

上の写真は、1年生・2年生・4年生の校外学習の一コマと、あさけ学級で孵化した蝶の様子です。

## 保護者・地域・学校が連携・協働して守る“学びの庭”“子供の安全” 地域とともにある東小学校

2学期始業式翌日、休日の早朝にもかかわらず、大勢の保護者の皆さまにご参加いただき、「PTA 奉仕作業」が開催されました。本校の校庭は、地域の水害を防ぐ雨水貯留機能も有していますが、少々の雨が降ると、校舎側に大きな水たまりができ、しかもなかなか水が引かないという状況がありました。登下校や休み時間、体育など、水たまりのために児童に不自由な思いをさせてしまっていることから、その改善を目指して、校庭にある側溝の泥揚げなどの作業をしていただきました。おかげさまで見違えるほど改善され、台風14号が通過した直後も、写真のように、水たまりはあっという間になくなりました。地域とともにある学校というありがたさを実感しました。



### エピソード

1年生が、初めてバスに乗っての校外学習に行きました。楽しみにしていたお弁当の時間、きちんと並んで静かに食べていると、公園の方から、「1年生なのにお行儀がいいね。」と褒められました。日頃の生活が認められたようでうれしくなりました。

### エピソード

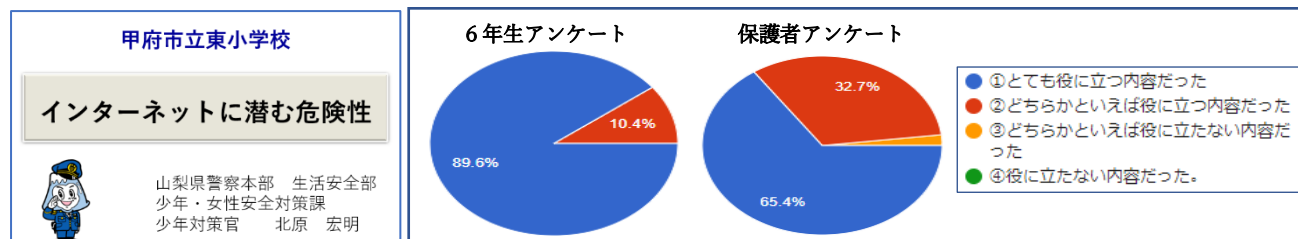


写真：県生涯学習課より

10月10日(祝)、甲府市総合市民会館において、内閣府主催の「青少年のインターネット利用環境づくりフォーラム in 山梨」が開催されました。

その中のパネルディスカッションに、本校児童会長の渡辺君、副会長の中村さんが登壇しました。大学や県教委の先生方が居並ぶ中、高校生・中学生とともに、山梨の小学生代表として自分の意見や質問への回答を堂々と発表しました。見事な活躍ぶりに、感動しました。

授業参観日に合わせ、「インターネットに潜む危険性」と題して、山梨県警察本部少年対策官の北原先生より、4・5・6年生の保護者と4・5・6年生(5・6年生は収録した映像を視聴)を対象にご講演をいただきました。インターネットの中は、もはや一つの世界もしくは社会といえるくらい、様々な人や物事がつながりあっています。当然、利便性や楽しさだけでなく、多くの危険も潜んでいます。人は成長に合わせて、家族→小学校→中学校…社会人と、徐々に社会との関わりを広げ・深めていくものです。しかし、インターネットの世界・社会は、そこに入った途端、子供でもいきなり大人と対等に関わることになります。「→小学校→」段階の児童に対して、インターネットや情報端末の適切な利用教育を進めること、その一方で、危険性や有害性もあわせて伝え被害や加害から守るための取り組みを進めること、それらは、学校・保護者・地域に課せられた喫緊の努めであると再認識しました。



地域やご家庭の皆さまとともに、児童の健やかな成長を期す「地域とともにある学校」を創り上げていきたいと思ひます。本校教育活動への変らぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

※ アンケート結果の概要は、裏面に紹介しました。

### 児童のアンケートより

- インターネットは身近にあるものなのに、様々な危険があることを知った。
- インターネットに配信すると完全に消せないことがわかりました。
- 色々な動画を投稿したら個人情報知らないところで知られているかもと怖くなった。
- インターネットは、現代社会で欠かせないもので、自分の身は自分で守らなければいけない。
- 僕は昔フォートナイトをしていたし、ビデオを見て学生服だけで場所を特定されるなどを勉強になりました。
- 自分は、楽しいし面白いからインターネットを利用しているけど、SNS に意外な落とし穴があった事をした。
- 個人情報が流れたらどんなに危険かわかった。メールなどで誤解を与えないようにしようと思った。
- ネット接続の危険性について、早い段階で保護者と共有する必要があると考えている。この学習を受け、保護者が積極的に危険を回避する行動をとってほしい。
- 目の中の景色から住んでいる場所がばれてしまうことがあることや子どもたちに身近なオンラインゲームの危険性について知ることができた。
- 今は目に映る景色もわかってしまう高度な技術があり、動画や写真を投稿するときにはそういうことにも十分に気をつけないといけないことが分かった。
- 僕は毎日のようにインターネットを利用しているので、インターネットを使用する上で大切なことや「インターネットだからいじめをしていいわけじゃない。インターネットも現実の世界も同じ。」という言葉を実日意識していきたい。
- 家族がインターネットに気をつけなよと言っている意味がわかった。周りや、言葉に気をつけていきたい。
- インターネットの世界と現実の世界は、同じだから、陰口を言ったり、してはいけないということです。
- インターネットの世界は相手の顔が見えないから、怪しい人の判断が難しいと言っていたので気をつけたいと思った。



### 保護者のアンケートより

- 日々感じていた漠然とした危険性を、具体的な事案を元に動画で説明していただいたので分かりやすかったです。
- 子供達にとって分かりやすく注意喚起できる内容だった。親も視聴することで、子供がどのような話を伺ったのか知ることができて良かった。
- 思っていた以上にネットやゲームの依存があることを知り驚きました。
- 知っている内容だったので、改めての再確認という点で役に立つ内容でした。
- 改めてインターネットというものは危険を伴うものだとすることを子どもと情報共有できた。
- 子供が考える危険性と、親が考える危険性との違いを感じました。
- 「そんなつもりじゃなかった」からのトラブルがわかりやすく紹介されていたと思います。
- 子どもはインターネットの利便性ばかりに目がいきがちなので、危険性もあることを知る良い機会だったと思います。
- 子供と視聴して意見交換したいと思いました。
- 一通り理解している内容ではありましたが、改めて気をつけなければならないと感じました。
- 子供に対してだけでなく自身も SNS やってるので役立ちました。
- 動画撮影とかで写りこむ映像に個人情報があることとか意外と気付かないこともあり、勉強になりました。
- 時代に即した内容で、子ども達の身近にある危険性について、講師の先生が語りかけるスタイルで説明してくださり、伝わりやすかったと思った。
- 現在スマホはもっていないが、SNS から簡単に撮影した背景の画像から個人情報がばれてしまったり危険が潜んでいる事を子供と学びました。
- 細かい事にも注意を促し、子供がネット社会と上手に付き合えるよう情報共有をしていこうと思いました。
- 写真に GPS がついていて位置情報が分かってしまうことを知ることができた。
- 昔にはなかった様々な危険に対し、子供だけでなく、大人も注意していくことが視聴したことにより改めて具体的にわかり、家族以外の人とも話をするきっかけが作れたと思います。ありがとうございました。
- まだスマホを持たせていないので、なんとも想像がつかなかった。
- 事前準備をしっかりして欲しかった。
- 最後、時間切れだったのか突然映像が終わってしまったのが残念でした。
- もっとリアルな話を話して欲しかった。
- 親子で同じ内容を視聴できたので、「今後スマホを使う時がきたら、ルールを決めようね」とお互いに話し合えるきっかけにもなりました。



※紙幅の都合で全てをご紹介できませんでした。お許し下さい。